

2018年 9月 14日

伊勢原市協働事業完了報告書

伊勢原市長 殿

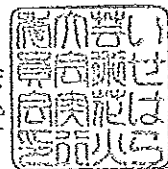
住 所

団体名

代表者氏名

いせはら芸術花火実行委員会

実行委員長 柏木 貞俊



平成29年12月18日付けで協働事業採択決定通知を受けた事業が完了しましたので、伊勢原市市民協働事業提案制度実施要綱第14条の規定により、関係書類を添えて次のとおり報告します。

1 協働事業の成果

協働事業名	第7回 いせはら芸術花火大会
事業費総額	18,408,897 円
事業期間	自 2018 年 4 月 14 日 至 2018 年 4 月 14 日
実施場所	伊勢原市総合運動公園
参加者数	約20,000人
事業実施内容及びその成果	芸術花火の打ち上げ 市民によるステージイベントの開催 市民による飲食物販ブースの開催 FM湘南ナパサによる会場からの中継 市内外にシティープロモーションが推進できた。 また、まちの活性化の一助になった。

2 添付資料

- (1) 伊勢原市協働事業収支決算書（第8号様式）
- (2) 協働事業の実施に要した費用の領収書等の写し
- (3) その他市長が必要と認めるもの

伊勢原市協働事業収支決算書
第7回 いせはら芸術花火大会
いせはら芸術花火大会実行委員会

収入の部		
項目	金額	備考
協賛金	16,995,422	協賛、メッセージ花火、寝ソベリア手売り分含む
募金	752,215	サボセンフェスタ、道灌まつり、大山登山マラソン、当日、ペットボトル
チケットぴあ売上	838,066	
ふるさと納税売上	128,704	
当日協賛金	234,000	
当日予約分協賛金	126,000	
利息	18	
事務局前回繰り越し分	90,049	
収入合計	19,164,474	

支出の部		
項目	金額	備考
会場設営費	13,979,638	花火、レンタル備品、音響、トイレカー、施設利用費
運営費	2,197,280	警備、バス、運搬、足場、廃棄物処理
本部団関係費	225,825	食事代
広報費	968,766	ポスター・チラシ作成印刷、名刺広告、保安円掲載
講師関係費	30,000	司会
報告書作成費	150,000	DVD
渉外費	45,470	お礼
租税公課	11,900	証紙
記念品代	0	
保険料	230,620	延期賠償保険
通信費	331,886	NTT回線、携帯、郵送
事務経費	32,923	
第6回時建て替え	204,589	柏木実行委委員長
支出合計	18,408,897	

収支金総合算	19,164,474 円
支出金総合算	18,408,897 円
繰越金	755,577 円

平成 年 月 日

上記の通り報告いたします。

「第7回 いせはら芸術花火大会」 事業評価シート

段階	評価項目
準備段階	1. 協働が開始された段階はいつからか ☒企画の段階から ☐実施段階から ☐その他（ ） 2. 協働の呼びかけはどちらからか ☒市民活動団体 ☐市 ☐その他（ ） 3. 協働で行う意義は明確だったか ☒はい ☐いいえ 意義〔芸術花火大会を通し、本市の自然あふれる景観や歴史を伝え、観光振興及び地域活性化に大きく寄与する。〕 4. 事業の目的は明確だったか ☒はい ☐いいえ 目的〔本市の自然あふれる景観に映える芸術花火大会を実施し、市の魅力を伝える。実施にあたっては市民が中心となることで地域活性化を図る。〕 5. 事業の目標（何がどのような状態になることを意図しているか）は明確だったか ☒はい ☐いいえ 目標〔花火大会を市民全体で盛り上げ、地域全体で取り組む。〕 6. 相互理解は十分だったか ☒はい ☐いいえ 理由〔 〕
実施段階	7. 協定書作成にあたって十分協議したか ☒はい ☐いいえ 理由〔 〕 8. 事業運営上の役割分担は適切だったか ☒はい ☐いいえ 理由〔 〕 9. 進捗状況や情報を共有できたか ☒はい ☐いいえ 理由〔 〕 10. 実施プロセスの記録は残せたか ☒はい ☐いいえ 理由〔実行委員会を3回実施し、進捗状況を共有した〕 11. 互いの特性を活かすことができたか ☒はい ☐いいえ 理由〔 〕
終了後の段階	12. 事業内容の報告を作り、公開できたか ☒はい ☐いいえ 理由〔 〕 13. 目的・目標は達成できたか ☒はい ☐いいえ 理由〔来場者数25,000人。地域全体から協力をいただいた〕 14. 今後の課題と改善策を話し合ったか ☒はい ☐いいえ 理由〔火災などの安全対策を課題とし、大会終了後の事後管理の対応について課題とした。〕 15. 総合的に見て事業に対する満足度は 【 5 ④ 3 2 1 】 理由〔本市のシティプロモーション及び観光振興に寄与している。〕 16. その他、気づいた点